

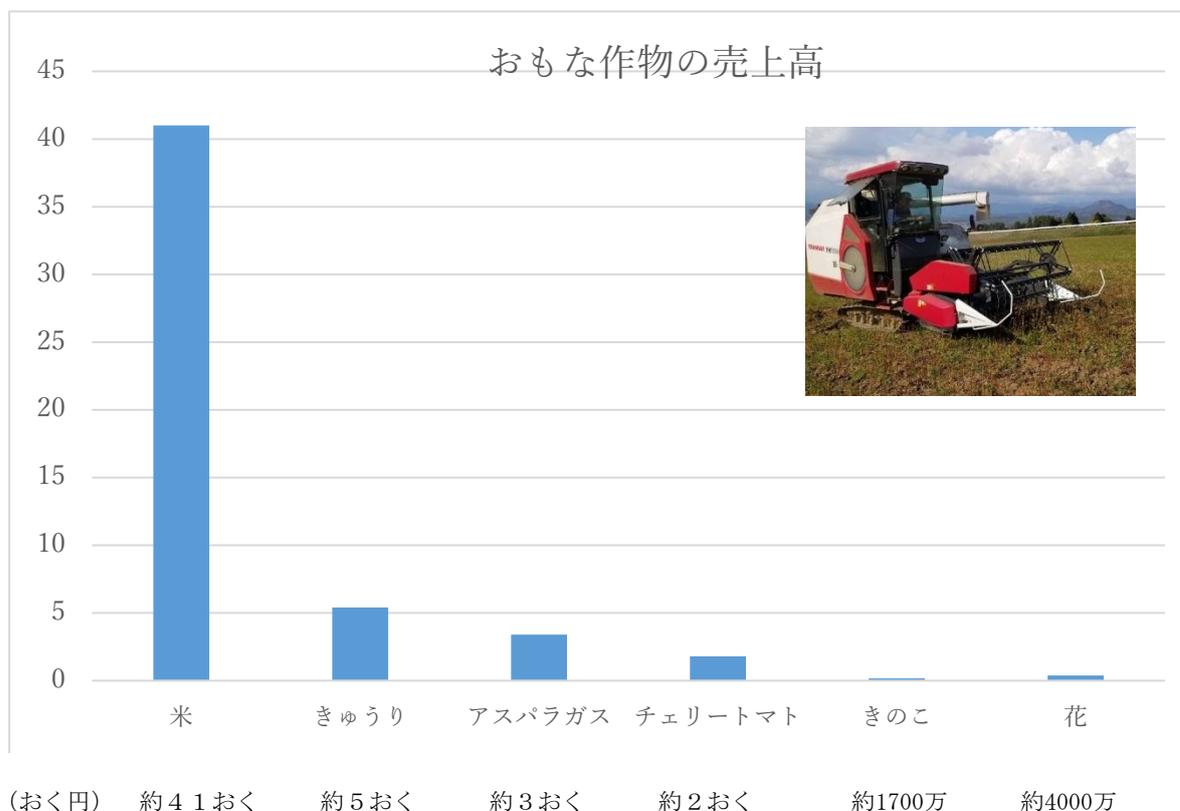
2 人びとのしごととわたしたちのくらし

(1) 農家の仕事

市の農家で作られているもの

わたしたちの市では、どこでどのような作物が作られているのでしょうか。

のうぎょうきょうどうくみあい
農業協同組合でいただいたしりょうをもとに市で作られている作物を地図やグラフにあらわしてみました。



「うわあ。ぼくたちの市ではなんといってもお米が一番多いんだね。」



「そうだね。ほかの作物とくらべると、まるでちがうね。」



「お米をつくるのに、春から秋まで半年ぐらいかかるそうだよ。」



「お米のほかにも、いろいろな野菜が作られているね。」



「きゅうりやトマト、アスパラも多く作られているよ。」

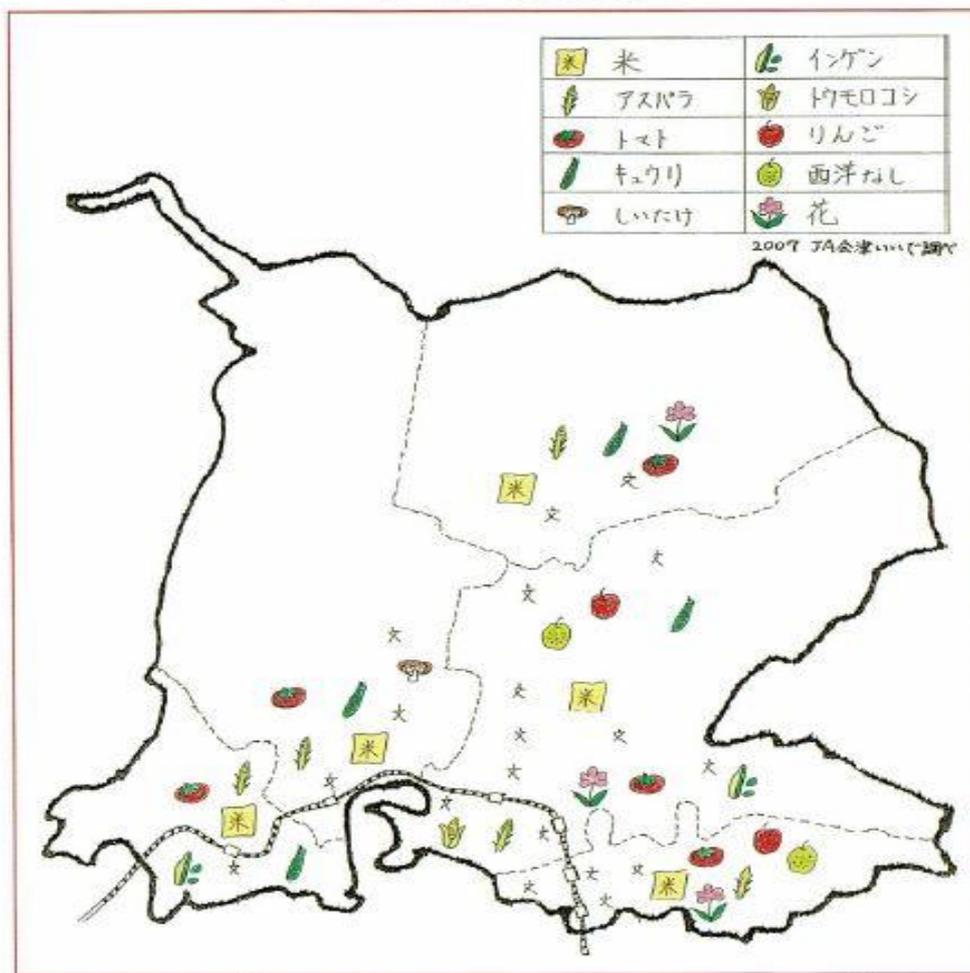


「きのこやお花も多く作られているね。」



「市内のあちらこちらで、いろいろな作物が作られていることが分かるね。」

市でつくっているおもな作物



みんなは、喜多方の作物で全国的に有名なアスパラとそばについて調べることになりました。



グリーンアスパラガス（アスパラ）をつくる

^{のうか}
農家へ行ったよ



「うわあっ、アスパラってこんなふうにはえてくるのね。」



「まるでいぼ竹が土の中から出てきたみたいだね。」（いぼ竹=花や作物がたお

れないように^{ささ}支える^{みどり}緑色の^{ぼう}棒のこと）

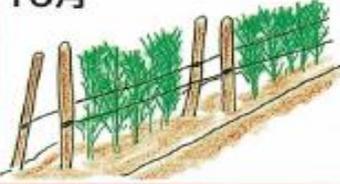
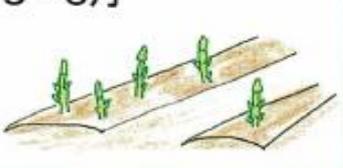
今日は、みんなで、学校の近くにあるアスパラ畑のようすを調べました。

アスパラを家に運んでからのようすも見せてもらうことにしました。

仕事^{しごと}のようすを農家^{のうか}の人にうかがいました。

^{のうか}
農家の人たちは、どのように^{のうか}ふうをしてアスパラを育てているのでしょうか。

アスパラづくりのこよみ

<p>4月</p>  <p>アスパラのかぶ</p>	<p>7月</p> 	<p>10月</p> 
<p>かぶを^{ひら}開く。(土をくずす)</p>	<p>来年のためにかぶを育てる。</p>	<p>しゅうかくする。(夏取り)</p>
<p>5・6月</p> 	<p>8・9月</p> 	<p>11月</p> 
<p>くきを立てる。^{しょうどく}消毒する。</p>	<p>しゅうかくする。(春取り)</p>	<p>きれいにかり取る。</p>

くふうがいっぱいのアスパラ



農家の人の話

やわらかくて、あまくおいしいアスパラ^{つく}を作るために、たいひを入れて、えいようのある土作りに気をつけています。アスパラは、25cmほどの長さで出荷^{しゅつか}するのが一番よいのですが、1日で10cmものびるのでしゅうかくには気を使います。また、^{びょうき}病気をよぼうしたり、しゅうかくの時期^{じき ちようせい}を調整したりするために、ビニルハウスも利用しています。毎年、とれた量やひりょうのやり方を^{きろく けんさつ}記録して研究することも大切な仕事です。

とり入れ、^{しゅつか}出荷のくふうは、どんなことでしょうか？

いよいよ取り入れ、^{しゅつか}出荷

太朗くんたちは、アスパラを作っている農家のようすについて調べました。農家の人が「家族^{かぞくぜんいん}全員で、力を合わせて仕事をしています。」と教えていただきました。



農家の人の話

アスパラは、毎日のびてくるので、お天気に関係なく、毎日、朝早く、夕方の2回しゅうかします。畑が広く、腰を曲げての作業が続くのでとてもつかれます。

でも、おいしく食べてくれる皆さんの顔を思いうかべると、つかれもふきとび、仕事楽しくなってきます。



④家族みんなで出荷の準備をする



④大きさをそろえる選別機



④収穫したアスパラを冷やしておく予冷庫

こやの中を見せていただきました。消毒をしたり、せんべつをしたりする機械やいろいろな道具がありました。また、新せんさをたもつために予冷庫という大きな冷蔵庫もありました。

農業協同組合で聞いたこと

農家でとれたアスパラは、どのようにして私たちの家に届くのでしょうか。

みんなで、農業協同組合へ行って、お話を聞いてみました。

アスパラは、どこへ送られるのでしょうか。



④農家からアスパラが集められる。



④形や大きさごとに分ける。



④トラックにつみこんで市場に送る。

ゆみさんはトラックの行き先をたずねました。すると、農業協同組合の人が、

「このトラックは、けんがい 県外の市場に行くんですよ。そのあと各地のスーパーマーケットや八百屋さんで売られるんですよ。」と教えてくださいました。

みんなは、喜多方の作物で全国的に有名なそばについて調べることにしました。



そばづくり



「わあー、きれいな^{はなばたけ}花畑だね。なんの花だろう。」

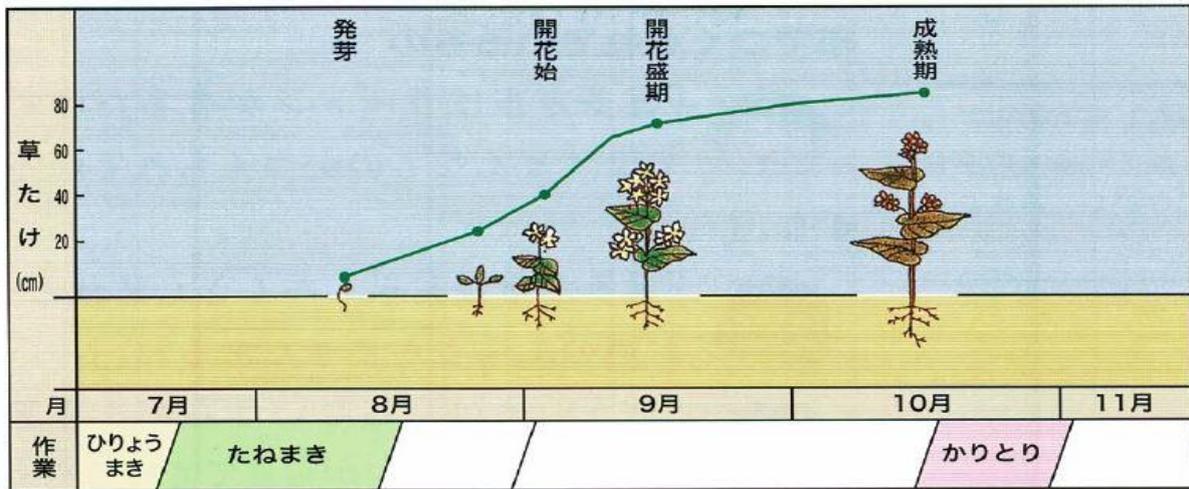


「これは、そばの花だよ。」

喜多方市では、^{かくちく}各地区でそばを作っています。^{きんねん}近年では、夏そばのさいばいにも取り組んでいて、^{ひとあし}一足早くそばを味わえるようになりました。全国的に有名な、^{やまと}会津山都そばをはじめ、^{おぐに}雄国そば、ひめさゆりそば、^{こまがた}会津駒形そば、^{らいじん}雷神そばなど、特色あるそばの文化が育まれています。11月になると各地区でそばまつりが開かれ、^{おおぜい}大勢の人でにぎわいます。

そばがこんなにさいばいされるようになったのは、^{しぜん}自然けんこう食品として見直されるようになったことと、これらの地区の^{きこう}気候がそば作りに向いているからです。

そばのさいばいこよみ



「そばってみじかい間でさいばいできるのね。」



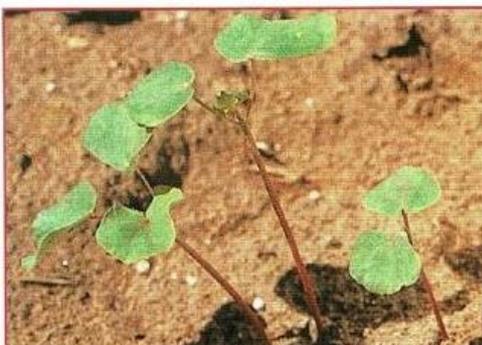
「そうだね。たねをまいてわずか3ヶ月くらいでしゅうかくできるんだね。」



そば畑こうろんの耕運



たねをまく



めが出る



かり取り

(2) 工場の仕事

市でつくられているもの

わたしたちの市でつくられているものをお店でさがしてみよう。



「喜多方市はラーメンが有名だけど、市ではどんなものがつくられているのかな。」



「喜多方市はお米もたくさんとれるし、お酒の工場もたくさんあるね。」



「そういえば、おじいさんが、喜多方市は水がおいしいからって言ってたよ。」



「喜多方市に観光で来た人は、どんなおみやげを買っていくのかな。」



「喜多方市でつくられているものをみてみましょうよ。」

下の写真は、おみやげ屋さんなどで売られていた喜多方市でつくられているものの一部です。知っていることを書きこみながら、みんなで話し合ってみましょう。



みなさんは、ほかに
どんな物を知っていま
すか。そのことを発表
してみましょう。

【知っているよ】
ぼくの家近くには、
有名なお酒をつくってい
る工場があるよ。



【知っているよ】



【知っているよ】



【知っているよ】



【知っているよ】

喜多方市にはどんな工場があるのでしょうか。またどんな仕事を
しているのでしょうか。



ぼくたちのまちにはラーメン屋さん
さんが120けんほどもあってね。
1年間に170万人ほどのお客さん
がおとずれるそうだよ。
中には朝からラーメンを食べに
くるお客さんもいるんだって。



知ってる。
朝ラーって
言うんだよね。



それにしてもすごいぎょうれつだね。
どうしてこんなにぎょうれつができて
いるのかな？

そういえば、喜多方市には、
めん工場がたくさんあるわね。



ラーメン屋さんでは、めんもスープも全部その
お店でつくるのかな。
これだけのめんをつくるのはたいへんじゃない
のかな。



めんを作る工場

みんなで、喜多方ラーメンについて話し合いました。



「ラーメン屋さんのめんは、どこでつくられるのかな。」



「めんは、どうやってつくられているのかな」



「げんりょうはどこから来て、できためんはどこへいくのかな。」

みなさんのたくさんのぎもんを調べるために、めん工場へ見学に出かけることにしました。

見学の計画をたてる

みんなで話し合っていると、いろいろなぎもんが出されました。そこで、調べてみたいことをカードにせいりして工場見学の計画表をつくることになりました。

めんをつくる工場の見学

①見学に行く日 月 日

②見学する工場

③見てくること

- ・げんりょう
- ・仕事しごとのしかた
- ・
- ・

◎とくに見たいこと

④聞いてくること

- ・せいひんのおくり先
- ・はたらいている人の数
- ・
- ・

◎とくに聞きたいこと

見学の計画を立ててみましょう。

同じような意見があればまとめよう。

とくに調べたいことや、聞きたいことは、前もって工場のじむの人に手紙で知らせておこう。

工場では、どのようにしてめんをつくっているのでしょうか。

めん工場

調べる

めんはどのようにつくられているのでしょうか。



① 原料の小麦粉とかん水を量ります。季節によって量を調整します。



② 小麦粉とかん水をミキサーでよくねり合わせます。一日に何回も行います。



③ だんごのようになった粉を機械でおびのようにして、寝せます。

めんができるまで

太郎さんたちは、じっさいにめんをつくる場所を見せてもらいました。



「めん工場には、どのようなくふうがあるのかな。」



「きかいとたくさんの人の手を使って、つくっているね。」



④ いくつもの機械をとおして、少しずつめんがあつままでうすくのばします。



⑤ 決められた分量と形にめんを形に切り、めんがくっついてしまわないように打ち粉をふりかけます。ここでちぢれを出します。



⑥ 専用のコンベアで1食ずつふくろにつめます。



⑦ 仕上がりを確認します。



⑧ 手作業で何食かずつはこにつめて
ほうそうします。

工場の人のお話

喜多方ラーメンは、太く、たいらで、ちぢれているのがとくちょうです。おいしさのひみつは、粉をこねる時に水を多めにし、寝かせることでめんのかしを強くするところにあります。

また、つくる時には喜多方市のおいしい水がたくさん使われています。

地元でつくられている小麦「ゆきちから」を使っためんもつくられています。



かん水とは、ラーメンらしい色や味、こしを出すためのとくべつな水なのです。

小麦粉をこのかん水でこねると、めんの色が黄色に変わり、うどんやそうめんとはちがったラーメンらしいはごたえや味になるのですよ。



<わかったこと>

- それぞれの作業ごとに、たんとうする人が決まっていた。
- めんをうすくのぼすところから、ふくろにつめるまで、ラインがつづいていた。
- どの作業も、かならず人がついて、かくにんしていた。

<ふしぎに思ったこと>

- 小麦粉は、おもにどこからもってきているのかな。
- はこづめされたしょうひんがたくさんそうこに運ばれていた。そのあとどうなるのかな。
- みんなが白い服を着ているのはどうしてかな。



↑原料をほかんするそうこ

調べる

めんの原料は、どこから運ばれてきているのでしょうか。

めんの原料

見学を終えた太郎さんたちは、ふしぎに思ったことについて、工場の人にさらに話を聞くことにしました。



「喜多方市には何けんのめん工場があるのですか。」



「原料の小麦粉は、どこから運んでくるのですか。」



「市内には、9けんほどのめん工場があります。めんの原料となる小麦粉は地元産のものを使うこともありますが、ほとんどは、粉屋さんこなやをとおして外国から買っています。つくられためんは、市内のラーメン屋さんしゅつぷかに出荷されますが、おみやげ用として全国各地に送り出されています。」

ひろとくんたちは、工場の人から教わったことをもとにして、原料の小麦やつくられためんがどこから来てどこへ行くのかまとめることにしました。



工場の話

「喜多方ラーメンはおいしい」とのひょうばんを聞きつけて、よその地いきからもちゅうもんがきます。

県内の市や町はもちろんですが、全国各地に出荷しています。毎日、トラックの手配やとどける日の調^{ちよう}せいに大いそがしです。

ことば

原料

あるものをつくるときの、そのもとになる材料^{さいりょう}を原料^{げんりょう}といいます。工場では、原料に手をくわえて、さまざまなものをつくっています。

太郎さんたちは、調べてわかったことを地図にまとめました。



「外国からも、原料を集めているんだね。」



「全国各地へめんをおくっているけれど、どんなことに気をつけているのかな。」

めん工場では、1日にやく15,000～20,000食つくられています。1年分で、地球を何周もする長さになります。



はたらく人のようす

調べる

めん工場ではたらく人は、どのようなことに気をつけているのでしょうか。

工場の中には、たくさんの機械がならんで動いていました。そして、白い服を着た人たちが機械の動きを見たり、めんのできぐあい^{しょうひん}をたしかめたりしながら仕事をしていました。太郎さんたちは、工場ではたらく人のようすについて気になったことをしつもんしました。

何を^{かくにん}確認しているのですか。



できあがった商品^{しょうひん}に変わったところはないかを目で確認しています。

↓^{きんぞく}金属チェック



どうしてみんな白い服を着ているのですか。



もしよごれがあった時に目立つよう、白^{さぎょうふく}い作業服を着ています。工場の中に入る前には、きかいの風で服についている細かなほこりをはらいます。





せっけんやアルコール、水道など、手をふれずに手をせ
いけつにできるようになっています。身の回りをしよ
うどくして、せいけつにするようにてっしていします。



工場の人のお話

食べ物をつくる仕事なので、手や体のばいきんに気をつけています。
服そうはみんな決められており、工場内に入るときは、粘着テープ
で服のごみを取り、ねんちやく 空気シャワーをあびたり、石けんで手を洗っ
てアルコールでしようどくをしたりします。



「こんなにたくさんくふうをしてめんをつくっているんだね。」



「きかいがする作業でも、人がしっかりかくにんしているんだね。」



「食べ物をあつかっているから、工場の中がいつもせいけつになるよ
うに気をつけていることがわかったよ。」



「はたらく人のくふうがあるから、安全でおいしいめんができるんだ
ね。」

地いきとのかかわり

調べる

工場は、地いきとどのようにかかわっているのでしょうか。



工場の人のお話

この工場ではたらいっている人たちは、市内からだけではなく、ほかの市や町から来ている人もいます。

工場の人たちは、おいしいめんを少しでも多くの人に食べてほしいと思ってつくっています。そのために、よその地いきのめん工場を見学したり、工場のみんなで勉強会をしたりしているんですよ。



「工場の仕事とわたしたちの生活は、いろいろなところでつながっていることがわかりました。」



↑おみやげ売り場の様子

まとめる

これまでの学習をふり返り、わかったことや考えたことを話し合ひましょう。

太郎くんたちは、これまでの学習をもとに、わかったことを話し合っています。



「工場では、えいせい面に気をつけて、人がする作業ときかいがする作業を使い分けていたね。」



「お客さんにおいしさと安心をとどけるために、いろいろなくふうをしていたね。」

わかったことや考えたこと

工場の人たちがさまざまなくふうや^{どりよく}努力をして、おいしいめんをたくさんつくっていることがわかりました。また、えいせいにとても気をつけていることがわかりました。

ゆう名だということは、知っていたけれど、どこから材料が来ていて、どのようにして作られているかを知って、自分たちの住んでいる市でつくられているラーメンにとてもきょうみもちました。市で作られているおいしいラーメンを、もっとまわりの人たちに知ってもらうために、どうすればいいのか、考えてみたくなりました。

(3) 店のしごと よく行く店

わたしたちは、家でよく買い物に行く店を調べました。1週間、どの店に何回行ったかを調べて、地図にしるしをつけてみました。



「わたしの家では、近くの商店がいちばん多かったわ。」



「ぼくの家では、スーパーマーケットに5回も行ったよ。」

よく行く店を発表し合ったけっか、家によってちがうことがわかりました。

1週間、家の買い物調べをして、けっかを地図にあらわしてみよう。

よく行く店を発表し合ったら、家によってかなりちがうんだね。



↑ 近所の店



↑ コンビニエンスストア



↑ スーパーマーケット



↑ いどうはんばい車

見学に行こう

調べてみると、いちばんよくりようされている店は、
スーパーマーケットでした。

みんなで、どうしてよく利用しているのかを話し合
いました。けれども、わからないことが、つぎつぎと出て
きました。

そこで、じっさいにスーパーマーケットを見学して調
べることをせいりしました。

スーパーマーケット
の見学の計画をたてて
みましょう。

(スーパーマーケットの見学のメモ)

調べたいことを書き出してみよう。

- ・ はたらく人は、どんな^{しごと}仕事をしているか。
- ・ 何人ぐらいはたらいているか。
- ・ しなものはどこからくるか。
- ・
- ・
- ・
- ・

↓

見学メモをまとめよう

▼見学メモの作り方

- ① スーパーマーケットで調べたいことを出し合う。
- ② 同じようなものは、ひとつにまとめてせいりする。
- ③ 調べ方を考える。
- ④ 気をつけることを話し合う。
- ⑤ 見学メモをつくって書きこむ。

スーパーマーケットでは、品物売るために、どんなくふうをしているのでしょうか。

スーパーマーケットではたらく人

スーパーマーケットではたらく人は、どんな仕事をしているのでしょうか。

みんなで、店の中を見学しました。店の人のあんないで、売り場の奥にあるドアの中にも入ってみました。売り場でも、ドアの向こうでも、たくさんの方がはたらいていました。

店の人にインタビューしてみました。



レジの話

きかいが、品物にはられた^{しなもの}バーコードというものを読み取って、計算しています。お客さんに、買いにきてよかったと思ってもらえるように、とくに、あいさつに気をつけています。「セルフレジ」では、お客さんが自分でレジを行います。レジをまつ時間や買ったものをマイバッグに入れる時間が短くなるなど、お店にもお客さんにも良いことがあります。



1こでは、大きすぎるお客さんのために、半分に切っているんだね。

やさいを切ったり つつんだりする人の話

お客さんによるこんで買ってもらえるように、レタスやキャベツなどは、一つ一つ、外がわのよごれている^は葉を切ってからつつんでいます。



ほかにどんな人がはたらいているか、店の中を見てください。

たくさんのお客さん

お客さんに、この店に来たわけを聞いてみました。



「大きな道路のそばにあり、広いちゅう車場があるので、遠くからも自動車で買い物に来ることができます。」



「いろいろなしゅるいの品物を売っているの、自分のこのみに合った物をえらぶことができます。」

お客さんは、なぜこのスーパーマーケットに来るのでしょうか。



↑ ちゅう車場

お客さんがくるのは

- ・ ちゅう車場が広いから。
- ・ 品物のしゅるいが多いから。
- ・ いちどで、いろいろな物が買えるから。
- ・
- ・

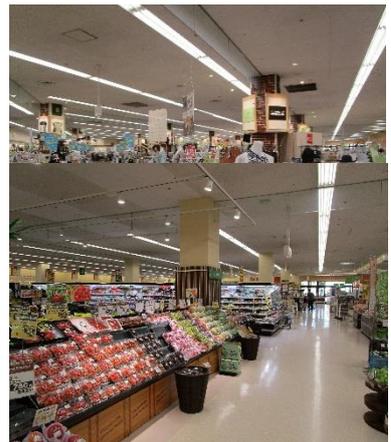
みなさんも、お客さんが来るわけを調べてみましょう。

店ではたらく人の話



しんせんな物や、作りたての物を売ることが大切ですね。また、品物の近くに使いそうなべつの品物をおいたり、料理した見本をおいたりして、おき方をくふうしています。

品物のせんでんもとても大切です。お買いどくの品物などを書いたちらしは、週に2回、1か月に8回ぐらい新聞しんぶんに入れてあります。今は新聞をとっていない人も多いので、お店にもちらしを置いたり、ホームページにもちらしをのせたりしています。



↑ スーパーマーケットの店の中の様子

町の人びととともに

町の人びとのねがいにこたえて、どんなくふうをしているのでしょうか。



スーパーマーケットの →
リサイクルコーナー



見学のとちゅうで、「リサイクルコーナー」を見つけました。



「トレーや牛にゅうパックを^{あつ}集めてどうするのかしら。」

ふしぎに思ったので、店長さんに聞いてみました。



店長さんの話

さいきん、しぜんや町のうつくしさをまもり、かぎりあるしげんをゆうこうに使おうとする人がふえはじめました。牛にゅうパックやトレーなどは、店で集めてリサイクルしてほしいという声がお客さんから出されたのです。

それから、エコマークのついた品物^{しなもの}を^{すす}進んであつかっています。また、けんこうによい食品にも力を入れています。店は品物を売るところです。そのためは、町の人びとのねがいにこたえていくことも大切なのです。



↑ エコマークのついて
いる商品

しなもの
品物はどこから



「店の品物は、みんなわたしたちの市で
つくられているのかな。」



「どこで、つくられているんだろう。遠く
からも来ているのかな。」

みんなで、おもに、やさいやくだものを
調べてみました。



「品物がどこでつくられたか わかるもの
がありますよ。よくさがしてみましよう。」

調べてみると、わたしたちの市でつくら
れているものだけでなく、よその県や外国
から送られきたものもありました。

品物は、どこから
おくられてくるので
しょうか。



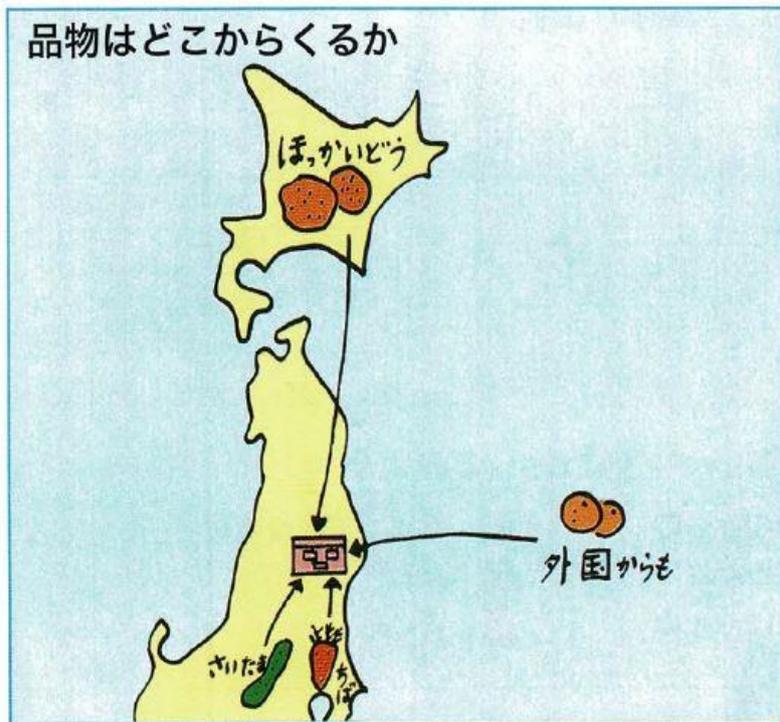
↑トラックで送られて
くる品物



↑ ほかの町からくる品物



↑ 外国からくる品物



よこちょう
レトロ横丁
しょうてん
商店がい

店どおしで力を合わせて



「きのう、レトロ横丁商店がいに行きました。お母さんが、昭和62年から令和2年までは、『ふれあい通り商店街』という名前だったと言っていました。10年前から行っていた整備工事が終わったことで、これを機に、商店街の新しい名前を公募して、令和3年から、この『レトロ横丁商店街』になったと教えてくれました。」



「商店がいの人たちで協力^{きょうりょく}して、買い物しやすいように、道路と歩道^{だんさ}の段差^{だんさ}をなくしたり、冬に雪がつもらないように整備^{せいび}をしたりしてくれていることも聞きました。商店がいは、いくつもあります。レトロ横丁商店がいのように、商店どおしで協力し合って仕事をしているところもあるのですよ。」

先生が、レトロ横丁商店がいの地図や写真を見せてくださいました。



← レトロ横町商店街の一部





「^{あ てんぼ あ くら}空き店舗、空き蔵などを貸し出して、新しい店をいろいろ開店しているよ。」



「ほかにも、商店がいの人たちは、お客さんによろこんでもらえるように、いろいろくふうしているのですよ。」



↑ 空き店舗を活用したカフェ

先生が、写真を持ってきてくださいました。



↑ 喜多方レトロ横丁



↑ 歩行者天国



↑ ぼっきり市 (2か月に1回)



^{しょうこうかいぎしよ じ むきよくちょう}
商工会議所事務局 長さんの話

商工会議所は、全国に515カ所あり、地いきの商店や工場などの困りごとをかいけつし、元気なお店になるよういろいろなお手伝いをしています。

元気なお店が増えて、商店街にたくさんのお客様が来ればにぎやかになり、まち全体が明るく元気になります。そこで、商工会議所ではお客様に楽しく買い物をしてもらうために、商店街ときょう力^{おおうりだ}して大売出しセールや商品券の発行などを行っています。

このほか、喜多方レトロ横丁や蔵のまち喜多方夏祭りなどのイベントを開催し、元気なまちになるよう活動しています。

- ・初市
- ・歩行者天国
- ・ぼっきり市
- ・蔵のまち喜多方夏祭り
- ・喜多方レトロ横丁
- ・得する街のゼミナール (まちゼミ)
- ・さい末大売り出し



④ 会津喜多方 商工会議所

遠くの町や村からも来るお客さん

レトロ横丁商店がいに、お客さんが集まるわけを調べてみました。



「商店街では、蔵のまちを前面にだして、観光のポイントにしているんだよ。」



「かん光客の人が、通りにある蔵づくりのお店などをよく見ているよね。」



「通りには、他にも、喜多方ラーメン店がいくつか集まっていて、食べに来る人がたくさんいるよね。」



「古くからの店もあって、服を買うときに、いろいろとそうだんにのってくれ、自分に合うのをさがしてくれたこともあるよ。」



「通りには、バスのり場がいくつもあって、バスで来るお客さんには、便利だね。」

レトロ横丁通り商店がいに、お客さんが集まるわけをまとめてみました。

- ・ 3つの商店街があって、せんもん店が多く、ほしいものが買える。
- ・ 蔵の町を前面に出している店も多く、観光客の人がきょうみをもって来てくれる。
- ・ 道路の歩道に段差をなくして、買い物しやすいように
- ・ 雪が積もらないように、道路と歩道を整備している。

みなさんも、
お客さんが集
まるわけをまと
めてみよう。+

家の人の買いもののくふう

買いものとき、家の人が気をつけていることを、
みんなで話し合いました。



「新聞に入ってくるチラシを見て、少しでも安く売っている店で買っているそうです。」



「けんこうを考えて少しねだんが高くても体にいいものを買おうと、言っていたよ。」
みんなは、家の人に聞いてみることにしました。どんなことを聞いたらよいかを話し合
ってしつもんのための用紙をつくりました。



わかったことや、気がついたことを話し合
てみよう。

わたしたちは、社会科の学習で家の人の買いものについて調べる
ことにしました。

つぎのしつもんに答えてください。

1 買いものをするとき、気をつけていることは何ですか。

3つ書いてください。

()

()

()

2 チラシのどこをよく見て買いものをしますか。

3つ書いてください。

()

()

()

3 今までの買いもので、しつぱいがあったら書いてください。

()

()

()